

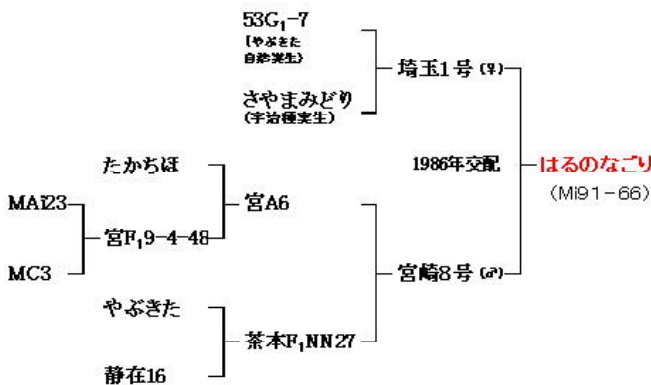
「はるのなごり」の特性

1 「はるのなごり」のセールスポイント

- (1) 炭疽病及び輪斑病に抵抗性を有する品種で、これらの防除は不要です。
- (2) 摘採期が「やぶきた」より4日程度、「かなやみどり」より1日遅い晩生品種です。
- (3) 製茶品質は「やぶきた」と同程度で、色沢や香気は「かなやみどり」より優れています。

2 育成経過

- (1) 育成地 宮崎県総合農業試験場 茶業支場
(農林水産省 茶育種指定試験地)
- (2) 交配 1986年(S61)
- (3) 登録 平成20年10月種苗登録出願
- (4) 交配組合せ



写真：「はるのなごり」の新芽

3 「はるのなごり」の特徴

(1) 形態的特性

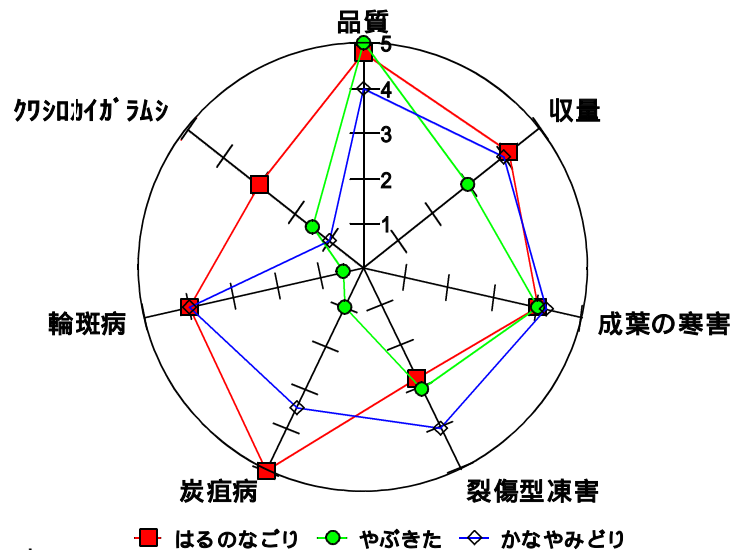
樹 姿：やや開張型
 株 張 り：大
 葉 の 形：やや長楕円
 葉の大きさ：やや中
 葉 厚：中
 葉 の 色：新葉 緑
 成葉 濃緑

(2) 生態的特性

樹 勢：やや強
 挿し木発根性：良好
 一番茶萌芽期：「やぶきた比」+4日
 摘採期：「やぶきた比」+4日

(3) 収量特性

「やぶきた」より2割程度多収です。



図：「はるのなごり」の特性
(良・強=5~1=弱・劣)

4 栽培・加工上の注意点

- (1) 晩生系統で、全国の茶産地で栽培が可能です。
- (2) 裂傷型凍害抵抗性の獲得がやや遅めなので、被害が発生しやすい幼木期においては肥培管理等に留意する必要があります。